

小学校第3学年 総合的な学習の時間指導案

大牟田市立天領小学校
教諭 奥菌 信宏

1. 単元名 「有明海・見つけたよ海の生き物たち」

2. 単元の目標

- ・ 干潟観察会や、有明海でとれる生き物についての調査活動を通して、干潟の楽しさを感じたり、有明海の生き物図鑑を作成したりすることができる。また、生き物を飼育するための方法を知り、長く飼育するための環境を整え、有明海の生き物への思いを発信することができる。(知識・技能)
- ・ 有明海に生息する生き物のよさを伝えるために、有明海の生き物の特徴をいかしたゲームや図鑑等を作ることができる。また、飼育する活動の中で感じた有明海の生き物のよさを、PRをしている人の考えや、環境保全をしている人たちの考えと自分の考えをつながりながら交流し、有明海の生き物たちのよさを感じ取った自分の思いを身近な人に伝えることができる。

(思考・判断・表現)

- ・ 干潟観察会を通して有明海に生息する生き物に興味をもち、身近な人に伝えたいという思いをもって生き物調べを行い、主体的に飼育したり、有明海のよさを伝えたりする活動を行うことができる。

(主体的に学習に取り組む態度)

3. 評価規準

知識及び技能	思考・判断・表現	主体的に学びに向かう力
○ 有明海の生き物について、生態と環境のつながりを理解できる。 ○ 飼育したい生き物について知り、水槽の環境を整えて飼育することができる。	○ 有明海の生き物のよさを考え、多様な生き物が生息することのできる有明海のよさやたくさんの人が環境保全に取り組んでいることを考え、身近な人に伝えることができる。	○ 進んで有明海に生息する生き物にふれあい、生息する生き物たちのよさを感じ、意欲的に生き物を最後まで飼育したり、身近な人に環境を守ることを発信したりしようとするすることができる。

4. 単元について

本校は汽水域に位置し、砂浜や干潟まで地理的に近く位置している。雨が多い日には校舎の周りでもカニを見ることもできるが、ベンケイガニ一種のみであり、有明海の生き物の多様性を知る機会には向いていない。有明海には、ムツゴロウやワラスボなど知名度があり、商品開発されている生き物や、絶滅危惧種に指定されているシオマネキなどの生き物もいる。そこで、干潟観察会を通して有明海の生き物の多様性や希少性を知り、この生き物たちの命を次世代へとつなげていく大切さを考えることは、自然に関心をもち、生命の尊さを感じるこの期の子どもたちにとって有意義であると考えます。

本校の子どもたちにとって「海洋教育」は3年目にあたる。しかし、海についてこれまで子ども達が学んできたことは、上級生による発表の場であり、どこか架空の空論的なものでしかなかった。また、海に行ったことがあるといった子どもたちは58%と低く、興味があるといった子どもたちも6

3%程度であった。また、有明海に生息する生き物といたら「あさり」「ムツゴロウ」など、特に知名度の高い数種類であり、生き物が多様にいることに気づいている子どもたちは少ない。

本単元においては、これまでの「かわいいから」「おもしろいから」といった子どもたちの自己中心的な生き物への思いを、「たくさんの人たちが大切にしている生き物だから大切にしていきたい。」という思いへと高めていく。

本時では、有明海の生き物と関係する人々の思いを考えることを通して、自分達の生き物への思いに環境保全や生命尊重、郷土愛といった価値を付加させていきたい。

そこで、「つかむ」段階では、前時までの学習を想起し、めあてをつかむ。「つくる」段階では、各グループで飼育してきた経過を発表させることで、「生き物を大切にしたい。」という自分達の思いを捉えさせる。「高める」段階では、有明海の環境を保全している人や、有明海の生き物を売っている魚屋の方、水族館の方の行動を通して、それらの人々がもつ有明海に対する思いを考え、交流させる。「生かす」段階では、これまでの自分の思いだけでなく、「地域の環境を守る」「生命の尊さ」「郷土の誇り」などの価値を見だし、自分の考えに付加し、自分なりの言葉で保護者に表現することができるようにさせたい。

5. ESD との関連

(主に関連する ESD の価値観)

地域の生き物をとふれ合うことを通して、たくさんの生き物たちが関わっていることに気づき、実際に自分達で飼育する活動をすることで生命の尊さを感じることができる。また、その生き物たちは人間社会と関わり合いながら生息していることに気づき、自然環境の保全を尊重することの意義を考えることができる。

(主に関連する SDGs)

- 14：海の豊かさを守ろう
- 15：陸の豊かさを守ろう

6. 学習活動の概要

全40時間 別紙

7. 本時（31／40）時間

本時主眼

- 有明海にいる生き物に対する自分達の愛着や思いと、有明海を大切にしている魚屋や水族館、地域の方々の思いを関連付けながら考える活動を通して、様々な人たちがふるさと有明海の環境を守ろうとしていることに気づくとともに、自分達にできることを考えることができる。
- 自分達の生き物に対する思いをわかりやすく発表し、環境を保全している人の思いの共通点や相違点を関連付けながら考え、生命の尊さや自然環境の保全の必要性を交流し、自分の考えを高めることができる。

8 展開

課程	学習内容	指導上の留意点・評価規準
つかむ / 話し合う ・ 関わる / ふかめる	<p>1 前時までの学習を想起し,本時学習のめあてをつかむ。</p> <div data-bbox="247 369 1396 492" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 有明海に関わる人々の思いを知り,自分達はこれから有明海とどのようにつながっていきたいかを考えよう。 </div> <p>2 これまでに育ててきた海の生き物の様子を発表し,自分達の考えをつくる。 ○ 3つの観点に沿って,飼育の様子を発表する。 《発表の観点》 ・苦労や工夫 ・飼うことで分かったこと ・生き物への思い</p> <p>3 有明海を大切にしている人々と関係づけながら,これからの海について考えるとともに,これから自分がどのような思いを持つことが必要かを話し合う。 ○ 海に関わる人々が海とどのように関わっているのかを話し合う。 ①有明海の生き物を取り扱う魚屋(夜明茶屋) ②柳川水族館の方 ③地域の方々(GT)</p> <div data-bbox="215 1332 805 1478" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 私たちの海にはたくさんの人たちが関わり合っていて守られているので,私たちにできることを考え,行動していくことが大切。 </div> <p>4 本時学習を振り返り,次時の見通しを持つ。 ○ 本時学習で発表を聞いたことや,海の問題について考えたことを振り返り,カードに書く。 ・海とは,多くの生き物を育て,命をつなげていく場所なので,大切にしたいな。 ・生き物を飼うことに夢中だったけど,海のすごさも伝えていこう。</p> <div data-bbox="263 1848 1396 1982" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> たくさんの人が有明海を守っているので,自分達も有明海を守れるような行動をこれからしていくことが大切。 </div>	<p>○ 前時までの学習を振り返り,本時の学習の流れを確認する。</p> <div data-bbox="845 593 1420 772" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 関鑑などで調べるだけでは分からなかった海の生き物の良さや,生活の様子を友達に分かりやすく伝えるために3点の観点をもとに発表させる。 </div> <div data-bbox="845 795 1420 1052" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 自分達で調べたり飼育したりしたことをもとに,自分たちの思いや考えをわかりやすく伝えることができる。(発表・つぶやき) 【コミュニケーションを行う力】 </div> <p>○ 有明海に親しみ,守る意識を高めるために,GTの話の聞いたり,海に関わる人たちの思いを提示したりする。そして,私たちの有明海は多くの人に関わり合いながら守られていることに気づかせ,これからどのような思いを持ちたいかを話し合わせる。</p> <div data-bbox="829 1377 1428 1556" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 生き物の面白さや愛着だけでなく,生き物の環境を守る取組や保全などを関連付けながら考えることができる。(話し合いの様子) </div> <p>○ これからどんなことを大切にしていきたいかを振り返り,今後の自分の考えを創るために,環境を破壊された海と豊かな有明海の動画を見せる。</p>

